

「“答えるAI”を越え、業務が自律的に動くAutopilotの時代へ」をテーマにTMIPランチコミュニティに登壇



Tokyo Marunouchi Innovation Platform(TMIP)スタートアップ会員として、丸の内を活動拠点とするオープンイノベーションコミュニティの場で、AIエージェントによる業務変革の実装知を共有



Asuka Takayama

press@jurin.ai

Tuesday

May 19, 2026

樹林AI株式会社(本社:東京都千代田区、以下「樹林AI」)は、2026年5月29日(金)に開催されるTokyo Marunouchi Innovation Platform(以下、TMIP)主催の会員限定イベント「TMIPランチコミュニティ」にて、日本法人 代表取締役 諏訪翔が登壇することをお知らせいたします。

講演タイトルは、「“答えるAI”を越え、業務が自律的に動くAutopilotの時代へ」。

生成AIの活用が多く企業で進む一方、現場では依然として「問い合わせ対応の一部効率化」や「社内ナレッジ検索」にとどまるケースも少なくありません。樹林AIは、AIを単なる回答支援ツールではなく、電話・メール・チャットなど複数チャネルを横断し、必要な情報への誘導から業務フロー上の実行まで担う“業務横断型AIエージェント”として実装することで、企業の生産性向上と意思決定の高度化を支援しています。

今回の講演では、AIエージェントが企業の問い合わせ対応、社内ヘルプデスク、顧客接点、バックオフィス業務などにどのように組み込まれ、業務全体の“Autopilot”として機能し得るのかを、分かりやすく紹介します。

登壇概要

- イベント名: TMIPランチコミュニティ
- 開催日時: 2026年5月29日(金) 12:00~13:00 ※TMIP会員限定のイベントとなっております。
- 登壇者: 樹林AI株式会社 日本法人 代表取締役 諏訪翔
- 講演タイトル「“答えるAI”を越え、業務が自律的に動くAutopilotの時代へ」

樹林AI 代表取締役コメント

生成AIの普及により、多くの企業でAI活用の検討が進んでいます。しかし本質的な変化は、AIが“問いに答える”だけではなく、業務の流れを理解し、必要なアクションを自律的に支援する段階に入ってから始まります。

樹林AIは、AIエージェントを企業活動の中核に組み込み、人がより重要な判断や創造に集中できる社会を実現したいと考えています。今回、TMIPという丸の内発のオープンイノベーションコミュニティの場で、実装現場から見えているAIエージェントの可能性を共有できることを大変嬉しく思います。

TMIP (Tokyo Marunouchi Innovation Platform) は、丸の内エリア(大手町・丸の内・有楽町)のイノベーションエコシステム形成に向けて、大企業とスタートアップ、産・官・学・街との連携で事業創出を目指すオープンイノベーションプラットフォームです。

会員同士の交流、情報共有、実証実験、事業連携などを通じて、丸の内エリアから新たな価値創造を推進しています。

樹林AIはTMIPのスタートアップ会員として、AIエージェントの社会実装および企業の業務変革に関する知見を、TMIPコミュニティに還元してまいります。

諏訪 翔

樹林AI株式会社 日本法人 代表取締役

— 以上 —

樹林AIについて

樹林AI株式会社は、企業の業務プロセスを自律実行するAIエージェント基盤を開発・提供する日本発のテクノロジー企業です。メール、電話、各種メッセージング、基幹システムを横断的に統合し、問い合わせ対応から業務フローの自動化までを一気通貫で実装します。経営陣はGoogle、Apple、Microsoft、OpenAI、NVIDIA、Amazon、Meta、Palantirなど世界的テクノロジー企業出身者で構成され、日本発のAIエージェント基盤を世界市場へ展開しています。

本件に関するお問い合わせ

報道関係お問い合わせ先

樹林AI株式会社 最高外交責任者 高山 明日香

電話: 080-4607-0677

メールアドレス: press@jurin.ai

[ウェブサイト](#) | [フェイスブック](#)

